



Press Release

2007/5/11  
日本ネテューザ株式会社

## ORANGE は NETEZZA データウェアハウス・アプライアンスを導入しデータセンターの設置面積、電力消費量、冷却要件を削減

電力消費量を3分の2以上削減、データウェアハウス設置面積は26キャビネットから9キャビネットに縮小

英国バークシャー州ブラックネルー2007年4月24日ーデータウェアハウス・アプライアンスのリーディングプロバイダである Netezza Corporation は、携帯電話サービスプロバイダの Orange UK がエンタープライズ・プラットフォームを Netezza に移行したことによりデータウェアハウスの電力消費量を72%削減したと本日発表しました。また Orange のデータセンターに格納されるデータ量が増加し続けているものの、Netezza に移行したことでデータウェアハウスの設置面積は以前の環境に比べて大幅に削減され、キャビネットスペースは26から9に縮小されました。携帯電話とブロードバンドサービスを提供する大手 Orange は、Netezza Performance Server® (NPS®) を4年前に初めて導入したことでこれらの削減を実現しました。

Netezza 導入以前、Orange では物理的なフロアスペースの問題とウェアハウスのパフォーマンス低下がビジネス・インテリジェンス・プロセスを圧迫していました。同社の Senior Data Centre Engineer、Mike Wheeler 氏は「データセンターは多くのスペースと電力を消費していました。NPS ソリューションはスペースと消費電力を大幅に削減し、さらにパフォーマンスを高めました。また NPS ソリューションの導入は容易であり迅速に行えました。」

Orange が以前使用していたデータウェアハウス構成は1.5TB で、毎時約25,000W (ワット) と85,000BTU (イギリス熱単位) を消費していました。3TB の Netezza データウェアハウス・アプライアンス導入後、Orange の消費電力は毎時7,000W と24,000BTU に削減されました。現在 Orange が使用するデータウェアハウスは、以前に比べて3倍近く電力効率が高まり、消費ワット数は約3分の1になりました。さらに冷却要件も BTU とワット数を約72%削減されました。



Netezza ヨーロッパ事業部の Vice President、Dave Kloc は次のように説明します。「エネルギーを効率化しコストを削減することは魅力的です。しかし企業が抱える真の問題点は、必要な電力と冷却能力が得られないためデータセンターのパフォーマンスを高めることができないことです。データセンターの実フロアスペースは年間 5～10%増加しています。<sup>1</sup> 新たな設備を作ることは、多くの企業にとって費用がかさむものであり、ビジネスに直結するものでもありません。これまで IT 成長に対応してきたインフラストラクチャがボトルネックになりつつあることを多くの CIO が認識し始めています。Netezza のシステムはサーバ、ストレージ、データベースを構造上単一のアプライアンスに統合し、処理機能をディスクドライブのすぐ隣に搭載しているため、必要な電力を劇的に削減することができるのです。」

Netezza 以外のデータウェアハウス製品は Netezza と異なり、デュアルコア・プロセッサ、ブレードサーバ、ラック最適化などを用いるため、密度が年間 15%も大きくなります。その結果、データセンターの消費電力と冷却要件が大幅に増加し続けることとなります。Gartner は以下のように述べています。「多くのデータセンターは新しい高密度のサーバの成長および消費電力と冷却要件に対応できなくなるでしょう。その結果、増加するビジネスニーズにも対応できなくなります。」<sup>2</sup>

<sup>1</sup>データセンター・マネージャーから CIO へのメッセージ：フロアスペース、電力消費量、冷却要件は企業の成長の妨げとなる (A Message from Data Center Managers to CIOs: Floor Space, Power and Cooling Will Limit Our Growth) – Gartner、2006年8月、Rakesh Kumar 氏

## ■ Netezza Corporation について

Netezza はデータウェアハウス・アプライアンスを提供する業界リーダーです。Netezza Performance Server データウェアハウス・アプライアンスは、データベース、サーバ、ストレージ・プラットフォームを専用システムに統合し、詳細なクエリの実行と膨大な格納データの分析を行います。Netezza は、従来のデータウェアハウス・ソリューションには限界があると認識し、その解決策として従来のソリューションに比べて 10～100 倍の速度でテラバイト級のデータ分析を行う NPS データウェアハウス・アプライアンス・ファミリを設計しました。NPS データウェアハウス・アプライアンスは総所得コストを低く抑え、高パフォーマンスと使いやすさを実現します。Netezza は米国マサチューセッツ州フレミングハムに拠点を置き、ワシントン DC、英国、アジア太平洋にオフィスを構えています。Netezza の詳細情報については弊社のホームページをご覧ください：[www.netezza.co.jp](http://www.netezza.co.jp)

本リリースに関するお問い合わせは、以下にお願いします。

日本ネティエザ株式会社

担当：滝沢 理

TEL：03 4360 5424

Mail：[salesinfojapan@netezza.com](mailto:salesinfojapan@netezza.com)